

マーケットの動き（2023年1月3日～1月6日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。週初は、日銀の金融緩和修正観測により米ドルは一時129円台半ばまで下落しました。その後、米ドルは買戻しの動きが強まり1ドル=134円台まで上昇しましたが、6日に発表された12月の米国雇用統計において賃金上昇率の伸び鈍化が示され、米ドルは132円台半ばで週を終えました。ユーロは、前週末比、対円・対米ドルともに下落しました。

投資環境見通し（2023年1月）

米ドル、ユーロともに円に対して上昇するも、変動率上昇を伴う

日銀による長期金利の変動許容幅拡大を受けた円高の動きが一巡したとみており、金融政策決定会合では「金利を低く抑えることが重要」との意見もあったことから、許容幅がさらに拡大される可能性は低いとみられます。ドルやユーロはFRB（米国連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）による利上げ観測を背景に円に対して上昇するとみていますが、日銀による金融緩和政策の修正を巡る観測から変動率の上昇を伴うとみています。

	1月6日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	132.42	0.47	▲4.24	▲3.25	16.67
ユーロ/円	140.40	▲0.42	▲3.12	2.09	9.65

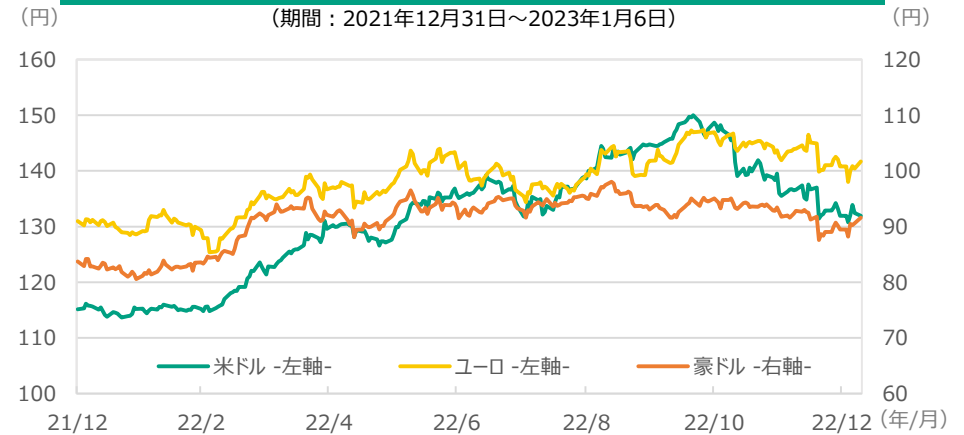
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202301_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成